

令和6年度久々野小学校 学校経営の全体構想

【学校課題】

- ◆考えをもち、対話を通して考えを深め、課題解決をする子の育成
- ◆自分で考えて判断し、仲間とともによりよい方法を見出す力の育成
- ◆互いのよさを認め合う子の育成

【学校の教育目標】

かしこく
なかよく
たくましい 久々野っ子

【高山市教育の方針と重点】

- 郷土に根ざし、未来を切り開く資質・能力を育む
- 【重点】 挑戦し続けるたくましさの育成
- 【キーワード】 個と向き合う

(めざす学校像)

学びを楽しむ学校

～ 自分で 自分から 自分たちで ～

<育てたい資質・能力> 「自分で考え、対話を通して 仲間とともに 課題解決する力」

<学習指導の重点>

「学ぶ楽しさ・新たな学び」を生み出す授業

■学習の土台の定着

- 基本的な「学び方」の定着・教科の学び方の習得（聞き方、話し方・話し合いの仕方）
- 具体的な「学ぶ姿勢」の指導（意義と価値づけ）（授業姿勢・家庭学習の取り組み方）

■学力の定着

- 課題に対する自分の考えをもち、自分なりの方法で課題解決する授業づくり（課題設定の工夫・自己決定の場の見届け）
- 仲間と考えを伝え合い、よりよい考えを見出す場の充実（小集団での学び・対話活動の場の工夫）
- 教科担任制、少人数指導等指導方法の工夫（加配職員や教科の職員等、専門性の高い授業）
- ICTの効果的な活用の推進
- 学びの定着のための主体的な家庭学習の取組（学習相談と三者懇談の活用）

■特別支援教育と郷土教育

- 特別支援教育の充実とUDの視点を取り入れた授業づくり
- 郷土教育の確かな実践とカリキュラムの充実

<生活指導の重点>

自他のよさを認め、かかわり合う力の育成

■生活の土台の定着

- 互いのよさを認め合う「心地よさ」の定着（一人一表彰・りんごカード・よさ見つけ・人権集会）
- 自分や仲間の新たな一面に気付く見方や捉え方の指導
- 仲間との関わり方指導、学年団での協働支援（気持ちのよい挨拶やマナー・公共物の使い方）

■安心安全な生活づくり（居場所づくり）

- 全児童が心穏やかに過ごせる支援・いじめ・差別・暴力を許さない指導（教育相談・心と体のアンケート・Q-U）（眠育・心のサポーター・UD環境整備・言葉遣い）
- 個の特性に応じた支援と関係機関との連携（要支援児童への対応・保育園療育との連携）
- 保小中と地域と連携した命を守る活動の継続（命を守る訓練・引き渡し訓練）

■「粘り強く取り組む」活動の評価とサイクル

- 「願い、努力、達成感」のある活動と意義づけ
- なかよし班活動や全校行事の意味づけ・位置づけ・発達段階に応じたリーダーの育成
- 重点行事への丁寧な取り組みと感動の共有

<教師の構え>

Key：いのち一番・ここにこ二番

児童理解・情報共有・共通理解・チーム行動・「児童の考え、意識、活動」をつなぐ

- ① 児童理解と情報共有を基盤に、各ステージでめざす姿を明確にして取り組む。
- ② 児童が、願いやなりたい自分に向かい、自ら挑戦し努力して、達成感を得る過程を価値づける。
- ③ 児童の変化を見逃さず「気にかける」「見届ける」「価値づける」ことで、成長を支援する。

<地域・保護者・保中との連携>

保護者・地域・学校で生み出す「われらの久々野小学校♪」

【地域の願い：学校運営協議会】育てたい子どもの姿：地域や人を大切にするたくましさのある子

- ・安心安全を確保する地域人材との連携
- ・学びを支える地域人材の活用
- ・命を守る行動の共通理解と実践
- ・地域の願いをもとに運営するコミュニティスクールの推進（学校運営協議会・久々野の子どもを育てる会・まちづくり協議会）

【保護者の願い】願う子どもの姿：自主性、思いやりがあり、挨拶ができる、元気でたくましい子

- ・子どもの成長を支える生活習慣の確立
- ・学習習慣づくりと情報モラル推進への取り組み